

第1章 計画の概要

1 地域福祉保健計画とは

地域福祉保健計画は、誰もが身近な地域で安心して暮らせるまちをつくるため、地域の福祉保健を推進するための基本理念や課題を明らかにし、課題解決に向け、市民・事業者・行政が協働で取り組む計画で、社会福祉法第107条に基づきます。

横浜市には、市全体の計画である市地域福祉保健計画（以下「市計画」という。）と、区ごとに策定する区地域福祉保健計画（以下「区計画」という。）があります。

また、地域福祉の推進を目指し、地域住民・福祉保健等の関係団体や事業者等が地域で主体的に進めていく計画として、社会福祉協議会が策定する地域福祉活動計画があります。

それぞれの計画は相互に補完・連携し、役割分担をしていくものであることから、横浜市では、地域にわかりやすい計画となるよう策定のプロセスを共有し、整合性のとれた1つの計画として一体的に策定しています。これにより、行政や市民、地域福祉活動団体、ボランティア、事業所などの地域にかかわる方々にとって、より協働しやすく、より実効性のある計画となることを目指しています。

2 緑区の地域福祉保健計画

(1) 第1期計画（平成18～22年度）

緑区では、平成16年度策定の「市計画」を受け、「みどりのわ・ささえ愛プラン」第1期計画を平成18年1月に策定しました。

策定にあたっては、区内11連合自治会単位で地区別意見交換会を3回ずつ開催しました。また、分野別団体別インタビュー、区民アンケートを実施し、そこで出されたさまざまな意見を、「つながり」「人材・担い手」「機会・場」「情報」「安心・安全・健康」の5つのキーワードに分類し、各団体の代表者や公募委員、学識経験者で構成する策定委員会で検討を進めました。

そして、計画の基本理念と、上記のキーワードを核とした5つの基本目標などを設定しました。



●第1期計画の基本理念と基本目標

基本理念 誰もが安心して暮らし続けられる緑区をめざして

～一人ひとりが主役・共に支えあうまちづくり～

基本目標1 地域での「つながり」を大切にすまちづくり（キーワード：つながり）

基本目標2 「一人ひとりの力」が発揮できるまちづくり（キーワード：人材・担い手）

基本目標3 みんなが活動できる「機会・場」のあるまちづくり（キーワード：機会・場）

基本目標4 必要な「情報」が入手しやすいまちづくり（キーワード：情報）

基本目標5 「安心・安全・健康」のまちづくり（キーワード：安心・安全・健康）

(2) 第1期計画の評価・振り返り

第2期計画の策定に向け、まず、第1期計画の評価を行い、地域の取組状況について、「緑区地域福祉保健推進会議」や「みどりのわ・ささえ愛プラン推進策定委員会」等で定期的に振り返りを行いました。

(3) 第2期計画（平成23～27年度）の策定

第1期計画の振り返り・評価を踏まえ、区内11地区の実状や地域の特色を活かし、区民と協働で策定する「地区別計画」と、区役所・区社会福祉協議会・地域ケアプラザが地域と協働し、緑区全体で取り組む「区計画」の2つで構成することとしました。

「区計画」は、振り返り等を踏まえ、第1期計画の基本的な考え方を継承することとしました。

この第2期計画は、日常生活に関連した課題などに対する地域の取組計画をまとめた「地区別計画」と、地域を越える課題や、近隣では対応しにくく区全体を対象とした課題、地域の取組を支援する計画などをまとめた「区計画」とが互いに連動することで、より有効な計画となっています。

① 地区別計画策定の経過

■地区別計画策定委員会の立ち上げ・委員会の開催

「地区別計画」を区内11 連合自治会・地区社会福祉協議会を単位として策定することとし、地区別計画の策定等を中心となって進める「推進母体」としての役割をもつ「地区別計画策定委員会」を、各連合自治会を中心に順次立ち上げました。委員会は、連合自治会、地区社会福祉協議会（以下、「地区社協」という。）、民生委員・児童委員、保健活動推進員、地域の活動団体の代表者などの方々で構成されました。

各地区においては、平成22年1月から10月にかけて、それぞれ3回程度、委員会を開催し、地域における各種取組の現状や課題について話し合い、地域課題の解決のための具体的な取組を検討しました。区内11地区で延べ32回の委員会を開催し、延べ450人の方々が参加して、検討を重ねました。

■地区別計画策定連絡会の開催

地区別計画策定に向けた委員会の開催主旨や、今後のスケジュールの説明、各地区の取組内容などの情報交換などを行うことを目的に、地区別計画策定委員会の連絡担当者、地区支援チームのチームリーダーなどが参加する「地区別計画策定連絡会」を4回開催しました。

■地区支援チームの立ち上げ

区役所の運営責任職、保健師や社会福祉職、区社会福祉協議会（以下「区社協」という。）職員、地域ケアプラザの所長、地域活動交流事業コーディネーター、地域包括支援センター職員（社会福祉士、主任ケアマネジャー、保健師等）で構成される「地区支援チーム」を地区ごとに立ち上げました。

地区支援チームは、地区別計画策定に向けて、地域の方々と協働して作業を行うなど、「地区別計画策定委員会」への支援を行ったほか、計画策定を通じて地域の方々との連携をより深め、情報交換や課題の共有など計画推進の土台を構築しました。

■みどりのわ・ささえ愛プラン推進策定委員会からの提言等

「みどりのわ・ささえ愛プラン推進策定委員会」では、「地区別計画策定委員会」の検討状況の報告を受け、地区別計画の策定に向けた提言や進捗管理を行いました。

② 区計画策定の経過

第2期となる区計画の策定にあたっては学識経験者や自治会、地区社協などの方々で構成される「みどりのわ・ささえ愛プラン推進策定委員会」を開催し、検討を行いました。

■基本目標の継承・「目指す姿」の表現

第1期計画の振り返りと評価を踏まえ、第1期計画での「基本目標」は、一つ一つの地域課題を解決しながら緑区が目指していく方向性を示したものであることから、今期の計画においても継承することとし、基本理念や基本目標を再定義したうえで、「目指す姿」を追加することとしました。

3 第2期計画の内容と特徴



基本理念



『誰もが安心して暮らし続けられる 緑区をめざして』
 ～一人ひとりが主役・共に支えあうつながりのあるまちづくり～



(1) 地区別計画

●「地区別計画」の特徴

平成22年1月から10月にかけて、区内の11 連合自治会・地区社協単位で「地区別計画策定委員会」を延べ32回開催し、緑区で初めてとなる、各地区の特徴を活かした「地区別計画」を策定しました。

委員会は、各地区の自治会や地区社協の関係者をはじめ、民生委員・児童委員、保健活動推進員、地域の活動団体の代表者等、延べ450人の方々に構成されました。

「地区別計画」は、平成23年度からの5か年間に行う、それぞれの地区の特徴をふまえた各種の目標と、地域課題の解決のための具体的な取組をまとめています。

11の地区別計画





11地区の地区別計画とキーワード

東本郷	<ul style="list-style-type: none"> ●地域の人達がつながり、支え合い、一緒につどい楽しみを共有できるまち ●色々な世代の人が地域活動やボランティアに参加しているまち ●必要な人に適切な情報が届けられるまち ●身近な所で健康づくりができ、いつまでも健康に過ごすことができるまち ●地域全体で防犯・防災に向け取り組み、安全・安心に暮らせるまち 	つながり 人材・担い手 情報 安全・安心・健康
鴨居	<ul style="list-style-type: none"> ●『安全・安心・健康』のまちづくりのために ●地域での『つながり』を大切にし、地域における後継者を育成するために 	安全・安心・健康 人材・担い手 つながり
竹山	<ul style="list-style-type: none"> ●ボランティア参加等の仕組みを整えます ●世代間・活動団体間の交流を進めます ●知りたい情報を知らせる工夫に取り組みます 	つながり 情報
白山	<ul style="list-style-type: none"> ●「おたがいさまカード」「ささえあいカード」の充実・活用 ●利用しやすい・参加しやすい仕組み ●地域でのふれあい・交流 	安全・安心・健康 機会・場 つながり
新治中部	<ul style="list-style-type: none"> ●防犯・防災に強い、安心できるまちにしたい ●次世代につながるまちにしたい 	安全・安心・健康 人材・担い手
三保	<ul style="list-style-type: none"> ●地域でのつながりを大切にしたい ●落ち着いて活動できる活動拠点を増やしたい ●イベント情報等を地域で共有したい 	つながり 機会・場 情報
山下	<ul style="list-style-type: none"> ●地域での「つながり」を大切にするまちづくり ●必要な「情報」が入手しやすいまちづくり ●「防犯・防災」で安心・安全なまちづくり 	つながり 情報 安全・安心・健康
新治西部	<ul style="list-style-type: none"> ●地域の中での孤立化をなくしみんなの顔の見える環境を目指します ●地域情報をより多くの人に届けるため自治会加入を促進します 	つながり 情報
十日市場団地	<ul style="list-style-type: none"> ●十日市場団地が団結して、地域の「つながり」を作っていこう 	つながり
霧が丘	<ul style="list-style-type: none"> ●現在の取組の継続、必要な見直しを行い、よりよいものに発展させます ●広報の発行等による情報発信で地域活動を周知し、参加者や担い手を増やします ●みどりのわ・ささえ愛プランを周知し、プランと霧が丘の取組の関係について情報を発信します 	機会・場 人材・担い手 情報
長津田	<ul style="list-style-type: none"> ●自治会の活動をわかりやすく伝えます ●あいさつできる地域づくりを進めていきます ●認知症の人や家族が暮らしやすい地域づくりをすすめます ●「防災ささえあいカード」の活用を検討していきます ●世代を越えた交流をはかり、ボランティアを育成します 	情報 つながり 安全・安心・健康 人材・担い手

第1章 計画の概要

(2) 区計画

●「区計画」の特徴

地区を越えた、区域で取り組む目標として、第1期計画で定めた5つの基本目標を継承し、新たに緑区の「目指す姿」を設定しました。また、これらの「目指す姿」を実現するための「キーワード」を抽出し、地域や区役所、区社協及び地域ケアプラザが目標実現に向けて行う取組や方向性を提示しています。

区域での地域課題の解決に向け、区役所、区社協及び地域ケアプラザは地域と協働して、さまざまな取組を行います。

基本目標
1地域での
「つながり」のあるまちづくり

キーワード…つながり

目指す姿

身近な住民同士が積極的にあいさつや声かけを行ったり、地域の行事や活動に参加することにより、子どもから大人まで地域の誰もが顔見知りとなる関係づくりを進め、つながりを持った支えあえる地域を目指します。

基本目標
2「一人ひとりの力」が
発揮できるまちづくり

キーワード…人材・担い手

目指す姿

ライフスタイルに合わせ、気軽に地域と関わることができる仕組みと、ボランティア活動が円滑に行えるネットワークづくりや人材育成を進め、身近で支えあえる地域を目指します。

基本目標
3みんなが活動できる
「機会・場」のあるまちづくり

キーワード…機会・場

目指す姿

多様な場を有効活用し、身近な地域でさまざまな人たちが気軽に集い、活動できる「機会」や「場づくり」を推進し、つながりのある地域を目指します。

基本目標
4必要な「情報」が
入手しやすいまちづくり

キーワード…情報

目指す姿

ニーズに応じた相談先や福祉保健に関するさまざまな情報を発信・周知するとともに、生活課題の解決に向けた情報共有を進め、誰もが手軽に必要な情報を得られ、活用できる地域を目指します。

基本目標

5 「安全・安心・健康」のまちづくり

キーワード…安全・安心・健康

目指す姿

地域を主体とした防災・防犯活動や、心身に健康で快適な生活を送るための取組を進め、誰もが安全・安心に暮らせ、いつでもいきいきと活動や外出ができる地域を目指します。

●「地区別計画」と「区計画」の関係性

「地区別計画」は地区の特徴をふまえた目標で、「区計画」は地区を越えた、区域で取り組む目標です。

「地区別計画」と「区計画」が共通点を多く持ち、つながり合うことで、地域・区域での課題の解決に向け、地域、区役所、区社協及び地域ケアプラザが連携し、さまざまな取組を行うことを目指しています。

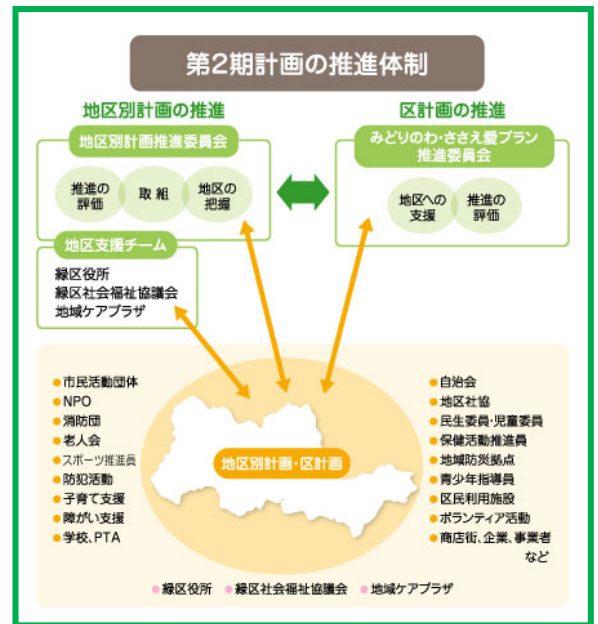
4 第2期計画の推進と第3期計画の策定に向けた取組について

(1) 第2期計画（平成23～27年度）の推進

「地区別計画」については、各地区の「地区別計画推進委員会」で課題解決に向けた話し合いを行い、取り組んできました。また、地域住民が主体となって推進していただけるよう、区役所・区社協・地域ケアプラザの職員で構成する「地区支援チーム」が支援しています。

区計画については、第1期計画に引き続き、「みどりのわ・ささえ愛プラン推進委員会」が、第2期計画での取組状況の把握等を行い、地区別計画の推進に対しても提言等を行ってきました。

平成26年度から、「地区別計画推進策定委員会」、「みどりのわ・ささえ愛プラン推進策定委員会」と名称を変更し、第2期計画の推進に加え、第3期計画（平成28～32年度）の策定に向けた検討も行っています。



（平成26年度から、「地区別計画推進策定委員会」、「みどりのわ・ささえ愛プラン推進策定委員会」に名称を変更）

(2) 平成26年度の推進策定スケジュール

平成26年度は第2期の推進4年目であり、第2期計画の推進と、第3期区計画・地区別計画の策定に向けた検討を中心に、次のとおり進めました。

みどりのわ・ささえ愛プラン 平成26年度 推進策定スケジュール														
	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	
第1期計画(18～22年度)	策定		第1期計画					策定			第2期計画		策定	
第2期計画(23～27年度)														
第3期計画(28～32年度)														
	25年度		26年度											
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月	3月
全体スケジュール	活動発表会 2/21	報告書の発行					地区別計画 区計画	協議					活動発表会 2/20	報告書の発行
区計画		開催① 3/28			開催② 6/13					開催③ 11/11			開催④ 3/25	
地区別計画	地区別計画推進策定委員会 (11地区別開催)		開催① 4/22									開催② 6/2		
	地区別計画推進策定委員会 (11地区別開催)			地区別開催 開催①			通信①発行		地区の調査 に付して開催		地区別開催 開催②		通信②発行	地区の 調査に付 して開催
	地区支援チーム		チーム ミーティング 4/22					地区支援チーム会議/毎月開催				チーム ミーティング 11/22		

(3) 「地区別計画推進費」の活用

平成23年度から各地区で取組を進めていく中で、『地区別計画推進のための活動経費が必要』という声が多く寄せられました。そこで、平成24年度から、地域が主体的に行う課題解決に向けた活動等を支援するための「地区別計画推進費」を各地区で活用しています。地区別計画推進策定委員会において具体的な活用策と取組内容を検討しており、地区別計画の推進の一助となっています。

(4) 平成26年度の広報等の取組について

平成26年度は、区民の方々に計画の推進状況や各地区の取組を知ってもらうため、広報よこはま緑区版「みどり」への特集記事の掲載、地区別計画推進策定委員会通信の発行・班回覧等、PRパネルの作成・掲示などによるPR活動に取り組みました。

●広報よこはま緑区版

- ★特集「みんなで取り組む みどりのわ・ささえ愛プラン」
(平成27年2月号)
- ★コラム(シリーズ)「まるごと解説!みどりのわ・ささえ愛プラン」
【内容】計画を推進するための団体や施設、主な取組などを紹介

＜広報よこはま緑区版

平成27年2月号

特集記事＞



●「地区別計画推進策定委員会通信」の発行

地区別計画推進策定委員会で作られたさまざまな意見や課題、地区での取組状況を地域の方々に周知するために作成しました。通信には、第3期地区別計画策定に向けた検討の様子なども掲載し、より多くの方に読んでいただけるよう、地域での回覧や全戸配布などを行いました。また、横浜市営地下鉄グリーンライン中山駅イベントスペースにて区計画のパネルとともに展示し、より多くの方へ取組をPRしました。(1月)



＜地区別計画
推進策定委員会通信＞

●地区別計画推進状況PRパネルの作成・展示

各地区の地区別計画の取組の様子を地域の方々に知っていただくために、PRパネルを作成しました。

平成27年2月に行われた社会福祉大会では、のぼり旗や通信とともに展示し、多くの方に地区の取組を知っていただくきっかけとなりました。

また、各地区のパネルは、地域ケアプラザなどで展示しています。より多くの方に、地域福祉保健計画や地域の取組に理解を深めていただくのに役立っています。



＜社会福祉大会でのパネル展示と
のぼり旗＞

(5) 第3期計画策定に向けた取組について

第3期計画策定に向け、区全域の福祉保健にかかる現状や課題、ニーズ等を把握するため、「区民アンケート」と「分野別・団体別グループインタビュー」を実施しました。

●区民アンケート実施概要

調査期間：平成26年8月21日(木)～9月8日(月)

調査対象：20歳以上の緑区民4,500人(無作為抽出)

調査方法：郵送によるアンケートの配布及び回収

調査内容：合計30問

- (1) 回答者の概況
- (2) 「みどりのわ・ささえ愛プラン」基本目標の5つのキーワードに沿った領域別設問
- (3) 福祉保健全般に関する設問

回収数：1,301件 回収率28.9% 有効票1,301件

詳しくは、緑区役所ホームページをご覧ください

みどりのわ・ささえ愛プラン

検索

●分野別・団体別グループインタビュー実施概要

実施時期：平成26年8月～10月

対象：高齢者、障がい児・者、子育て、健康づくり等の分野別の当事者、支援団体、福祉・保健活動団体等（計11グループ）

インタビュー内容：10年間の活動の成果、活動にあたっての課題、課題解決に向けたアイデア、5年後の団体像 等

(6) 計画推進の要「地域ケアプラザ・地域包括支援センター」

地域ケアプラザ・地域包括支援センターは、誰もが住み慣れたまちで、安心して暮らせる地域をつくっていくための拠点として、地域の福祉・保健活動を支援し、福祉・保健サービス等を身近な場所で総合的に提供しています。第2期計画においては、「地区支援チーム」の一員として、「地区別計画」の推進を支援するとともに、「区計画」においても地域・区役所・区社協と協働で取り組むなど、計画を推進する上で、非常に大きな役割が期待されています。

なお、各地域ケアプラザ・地域包括支援センターの主な取組については、80ページ以降で紹介しています。（所在地、連絡先等は巻末の参考ページに掲載）

●「区域研修」の開催

区役所、区社協及び地域ケアプラザで構成する地区支援チームは、地域による地区別計画推進の取組を支援するとともに、区計画推進のための様々な取組を行っています。そのために必要な知識やスキルの習得などを目的に、各地区支援チームメンバーを主な対象として研修を実施しています。平成26年度は、第3期計画策定に向け、各地区支援チームメンバーが地域での話し合いや地区支援チーム会議を活性化させ、多様な意見を引き出すツールとして、「ワールドカフェ」の手法を学びました。

「ワールドカフェを学ぼう！」

＜講師＞有限会社アイムジー

＜開催日＞同内容で2回実施

①平成26年10月29日（水）9：00～12：00

②平成26年10月30日（木）13：30～16：30

＜参加者＞地区支援チームメンバーほか（参加延数68人）

＜内容＞

- ①ワールドカフェ体験（第1部）テーマ「地域のためにできること」
- ②講義「ワールドカフェを実施する上でのポイント」
- ③ワールドカフェ体験（第2部）グループワーク



＜グループワークの様子＞

